



YMNだより

平成28年8月22日 第30号
発行 やまがたメイカーズネットワーク
(略称: YMN 代表 大津 清)
山形電波工業高等学校内 YMN 事務局

「3Dプリンター組立てワークショップ in 鶴岡」及び 「中学生3Dプリンター組立てワークショップ」同時開催

去る平成28年8月16日(火)～17日(水)の2日間にわたって、山形県立鶴岡工業高等学校を会場に「3Dプリンター組立てワークショップ in 鶴岡」(YMN主催)及び「中学生3Dプリンター組立てワークショップ」(山形県立鶴岡工業高等学校主催)を同時開催しました。

前者は、山形県教育委員会の後援のもと、やまがた社会貢献基金、公益信託荘内銀行ふるさと創造基金の2つの事業を実施しました。後者は、山形県立鶴岡工業高等学校の地域貢献活動として、市内の中学校を対象に実施しました。ご支援ありがとうございます。

これらのイベントは下記の目的で実施しています。また、事業の概要は下記の新聞記事をご覧ください。

○目的 県産部品を使用した3Dプリンターを製作し、ものづくりの楽しさを再認識し、3Dプリンターの原理は、理科等の基礎・基本を踏まえたものであることを体験的に学習し、科学技術に対する興味・関心を高め、探究的に学び続ける意欲と態度を育てる。

思考力・判断力・表現力等、変化の激しい時代を生き抜くために必要な能力を育むための創造的な学びの場を提供し、環境に配慮し、高い倫理観や郷土に愛着と誇りを持った人財を育成する。

●『「ものづくり」面白い! 鶴岡 中高生、3Dプリンター製作』

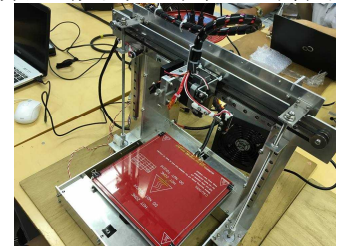
http://yamagata-np.jp/news/201608/17/kj_2016081700339.php

山形新聞平成28年8月17日付

●『3Dプリンター組み立て 中高生が参加し鶴工高でワークショップ』

<http://www.shonai-nippo.co.jp/cgi/ad/day.cgi?p=2016%3A08%3A18#News7412>

荘内日報平成28年8月18日付



科学の祭典にYMNブースを出展しました

去る平成28年8月6日(土) 10:00～16:00に霞城セントラル1F アトリウム、2～4F 産業科学館、3F 大会議室において開催された「2016 青少年のための科学の祭典 in 山形」に2ブースを出展しました。ブースの内容は下記のとおりです。

・「話題の3Dプリンターを体験しよう!!」

3Dプリンターによる工作、実演、展示を行いました。参加者独自の任意の一字を彫ったオリジナル駒を製作し、また、天童独自の将棋駒「左馬」(ひだりうま)も全員にプレゼントしました。

ブースの参加者数は子ども54名、大人45名でした。

・「ミニチュアリニアモーターカーで時速500kmを体験しよう!!」

本物にせまるミニチュアのリニアモーターカーの走りを実演しました。リニアモーターカーは磁力で、時速500km(スケールスピード)を超える走りを実現しました。

ブース参加者数は子ども90名、大人70名でした。

当日は、山形県立霞城学園高等学校の椿先生、サポーターとして生徒5名が工作や実演などの指導をしていただきました。他に、YMN会員の那須広紹副代表、齋藤薫事務局長、大津が担当しました。

講師の皆さん、参加していただいた皆さん、ありがとうございました。また、NECパーソナルコンピュータ株式会社様よりノートパソコンをお借りしました。深く感謝申し上げます。

